

2021年2月期 決算説明資料



アークランドサカモト株式会社

[証券コード：9842]

2021年4月9日

2021年2月期 業績報告



連結決算に関する変更点及び留意点

表示方法の変更

- 不動産賃貸取引に係る賃貸収益及び賃貸費用は、従来は「売上高」及び「売上原価」に含めておりましたが、当連結会計年度より、それぞれ「営業収入」及び「販売費及び一般管理費」として計上する方法に変更しております。

表示変更前		表示変更後	
売上高		売上高	
売上原価		売上原価	
売上総利益		売上総利益	A
販売費及び一般管理費		営業収入	B
営業利益		営業総利益	C=A+B
⋮		販売費及び一般管理費	D
		営業利益	C-D
		⋮	

連結対象期間及び決算日変更の留意点

- 2020年11月、ビバホームを完全子会社化。連結決算に取り込む数値は以下の通りとなります。
- また、アークランドサカモト及びビバホームは、以下の通り、決算日の変更を予定しております。

連結会計年度	2021年2月期	2022年2月期		2023年2月期
アークランドサカモト	2021年2月期 通期	2022年2月期 通期		2023年2月期 通期
	2020/2/21～2021/2/20 12ヶ月	2021/2/21～2022/2/28 12ヶ月 + 8日	決算日を2月20日から2月末に変更予定	2022/3/1～2023/2/28 12ヶ月
ビバホーム	2021年3月期 第3Q	2021年3月期 第4Q + 2022年2月期 通期		2023年2月期 通期
	2020/10/1～12/31 3ヶ月	2021/1/1～2022/2/28 14ヶ月	決算日を3月末から2月末に変更予定	2022/3/1～2023/2/28 12ヶ月

2021年2月期 連結損益計算書



(単位：億円、%)

	2020年2月期		2021年2月期		増減額		(ビバホーム)	増減要因 (除く、ビバホーム取込)
	実績	(構成比)	実績	(構成比)	(前期比)		※1	
売上高	1,094	100.0	1,784	100.0	689	163.0	524	外食事業M&A：+31億円
売上総利益	422	38.6	678	38.0	256	160.7	181	
営業収入	32	2.9	50	2.9	18	158.8	17	
営業総利益	454	41.5	729	40.9	275	160.6	199	
販売管理費	358	32.8	569	31.9	210	158.8	165	M&A関連費用：+4億円 のれん等償却費：+5億円
営業利益	95	8.7	160	9.0	64	167.3	33	
経常利益	103	9.5	169	9.5	65	163.1	33	
親会社株主に帰属 する当期純利益	48	4.4	87	4.9	38	180.0	22	

※1：連結調整後の単体の数値となります。

2021年2月期 セグメント別業績



(単位：億円、%)

	営業収益※1			営業利益		
	2020年2月期	2021年2月期	前期比	2020年2月期	2021年2月期	前期比
小売事業	686	1,320	192.4	31	92	294.5
卸売事業	73	74	101.1	6	9	139.7
外食事業	333	386	115.9	44	45	101.2
不動産事業	28	46	162.7	12	15	122.9
その他	4	7	159.8	▲0	▲2	—
消去又は全社	—	—	—	0	0	—
連結	1,126	1,835	162.9	95	160	167.3

※1：営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2021年2月期 連結貸借対照表



(単位：億円)

科目	2020年 2月期	2021年 2月期	増減	(ビバホーム) ※1	増減要因 (除く、ビバホーム取込)
流動資産	384	964	580	636	
商品及び製品	122	550	427	428	
固定資産	671	2,569	1,897	1,400	
有形固定資産	490	1,815	1,325	1,131	取得原価配分による有形固定資産評価差額+177億円
無形固定資産	27	395	368	44	取得原価配分によるのれん及び商標権計上額+308億円
資産合計	1,056	3,533	2,477	2,036	
流動負債	146	1,795	1,648	597	
買掛金及び電子記録債務	50	424	374	367	
短期借入金	38	1,045	1,007	—	TOBに係るブリッジローン+1,035億円
1年内返済長期借入金	—	91	91	90	
固定負債	78	827	749	672	
長期借入金	—	256	256	250	
負債合計	225	2,623	2,398	1,269	
純資産合計	831	910	79	—	
負債純資産合計	1,056	3,533	2,477	—	

※1：連結調整後の単体の数値となります。

2021年2月期 連結キャッシュ・フロー



(単位：億円)

	2020年 2月期	2021年 2月期	増減	当期実績の主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	84	65	▲19	税金等調整前当期純利益 156 減価償却費(のれん償却費含む) 53 法人税等の支払額 ▲52
投資活動による キャッシュ・フロー	▲84	▲980	▲895	有形固定資産の取得 ▲65 子会社株式の取得 ▲902
財務活動による キャッシュ・フロー	16	969	953	短期借入金の純増額 996 リース債務の返済 ▲5 配当金の支払額 ▲12
現金及び現金同等物 の増減額	17	54	37	
現金及び現金同等物 の期末残高	201	256	54	
フリーキャッシュ・フロー	0	▲915	▲914	FCFの大幅マイナスはビバホーム株式の取得による影響

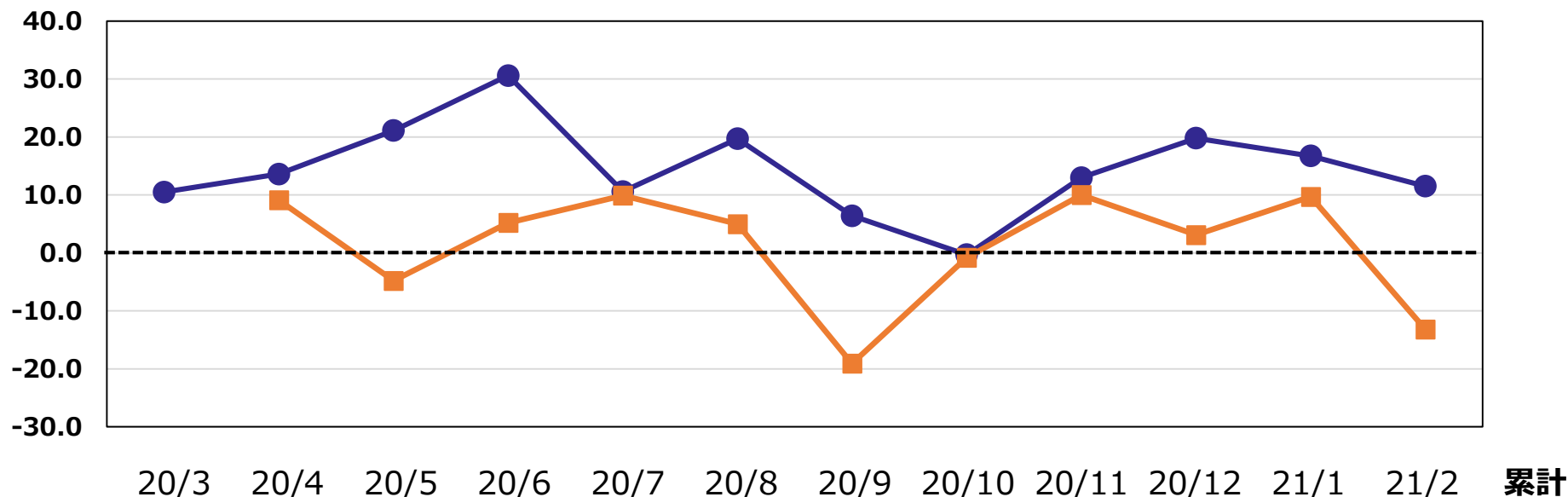
既存店売上高 前年同月比



- 新型コロナ影響による巣ごもり需要もあり、上期は堅調に推移。
- 下期は数年ぶりの大雪影響もあり、季節商品が好調。

(増減ポイント)

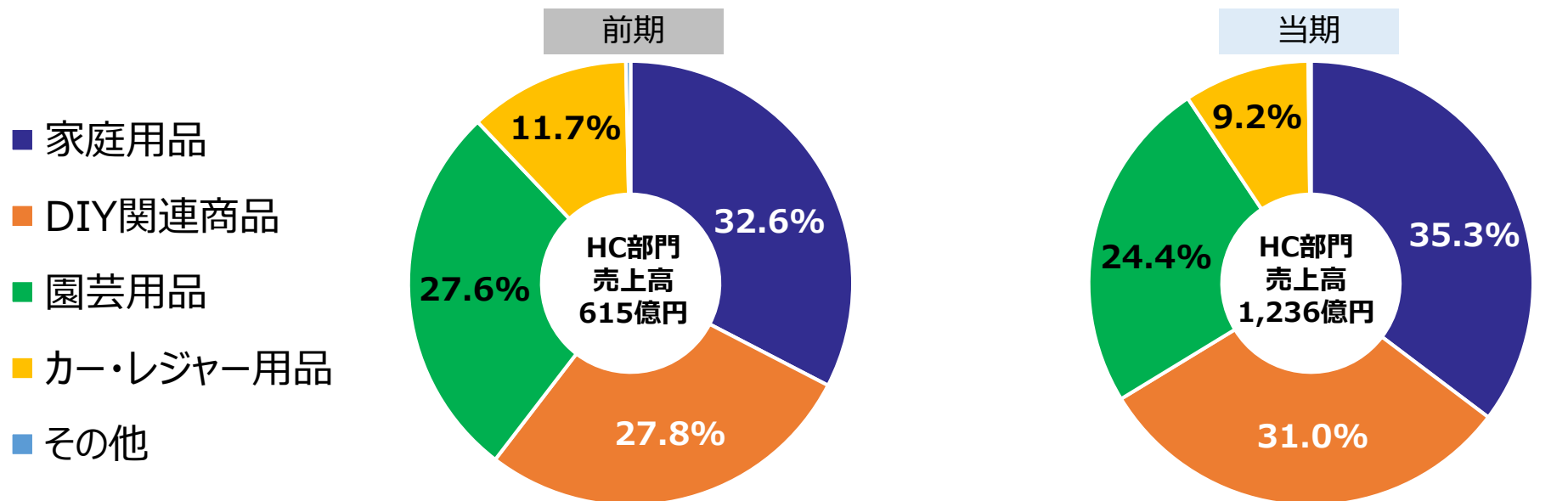
● アークランドサカモト ■ ビバホーム



アークランドサカモト	10.5	13.6	21.1	30.6	10.6	19.7	6.4	-0.3	13.0	19.8	16.7	11.5	14.5
ビバホーム		9.1	-4.8	5.2	9.9	5.0	-19.1	-0.8	10.0	3.1	9.7	-13.2	0.6

※ : アークランドサカモト (2020.2.21~2021.2.20)
 ビバホーム (2020.4.1~2021.3.31)

■ 家庭用品とDIY関連商品の構成比率が上昇。日用品や木材、ペット等の商材が特に前期比で売上伸長。



(単位：百万円、%)

部 門	2020年2月期	
	金額	構成比
家庭用品	20,075	32.6
DIY関連商品	17,131	27.8
園芸用品	16,937	27.6
カー・レジャー用品	7,227	11.7
その他	209	0.3
ホームセンター部門合計	61,581	100.0

	2021年2月期	
	金額	構成比
家庭用品	43,641	35.3
DIY関連商品	38,320	31.0
園芸用品	30,116	24.4
カー・レジャー用品	11,321	9.2
その他	240	0.1
ホームセンター部門合計	123,640	100.0

2021年2月期末 グループ店舗数

グループ総店舗数 **510** 店舗



38店舗



102店舗



254店舗

その他専門店

116店舗

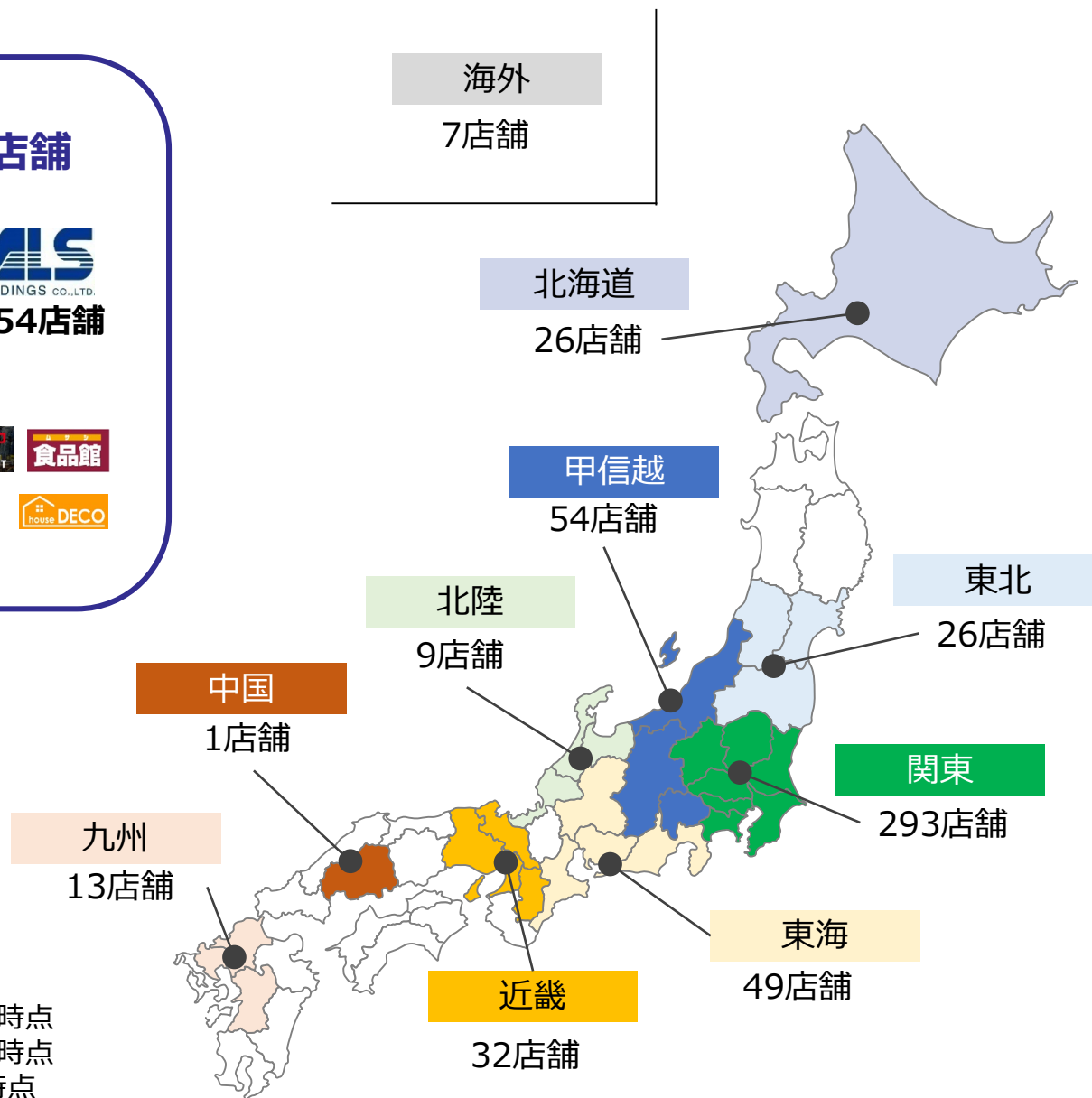


アート&クラフト専門店
ARC OASIS



※：直営店のみの店舗数となっております。
グループのFC店は以下の通りとなります。
アークランドサカモト : 5店舗
アークランドサービスHD : 442店舗

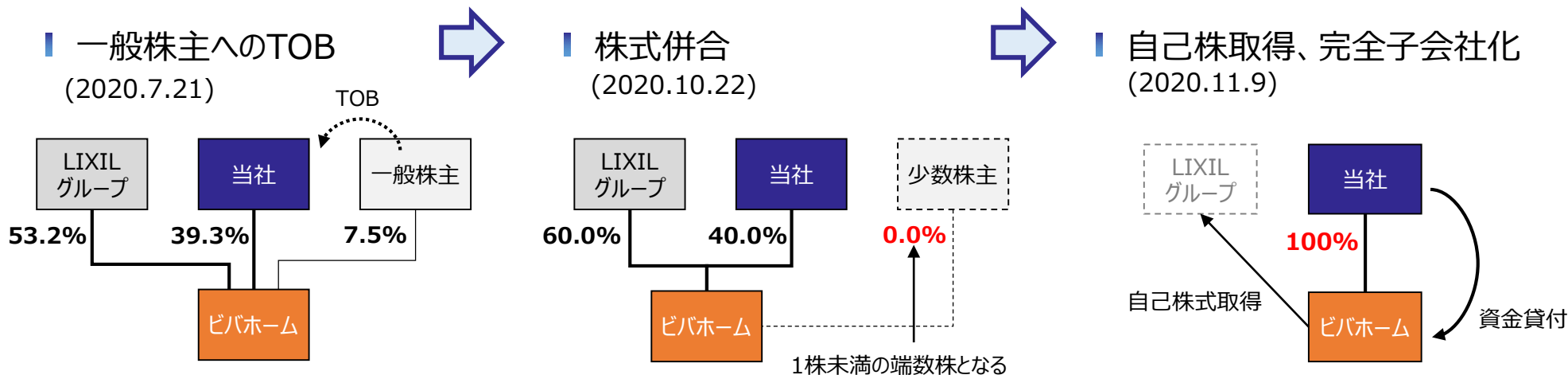
※：各社店舗数は以下の時点で集計しております。
アークランドサカモト : 2021年2月20日時点
ビバホーム : 2021年2月20日時点
アークランドサービスHD : 2020年12月末時点



トピックス

株式会社ビバホームを連結子会社化①

連結子会社化の経緯



ブリッジローンのリファイナンス

既存借入	金額	リファイナンス	金額
ブリッジローン	1,035億円	短期借入枠	255億円
		シンジケートローン	780億円
合計	1,035億円	合計	1,035億円

シンジケートローン概要

	トランシEA	トランシEB
契約金額	500億円	280億円
期間	10年	1年
返済方法	元金均等返済	期限一括返済
アレンジャー	三井住友銀行・みずほ銀行	
その他	Close-and-sell方式※1	

※1：アレンジャーが全額引受をしてシンジケートローン契約を締結し、その後、他金融機関宛てにセルダウんを行い、シンジケート団を組成することを予定しております。

株式会社ビバホームを連結子会社化②



BS・PLへの影響

BS (2021年2月期)

(単位：億円)

科目	単体	連結	備考
関係会社株式	533	-	内、既存のビバホーム株式保有分10億円含む
関係会社短期貸付金	566	-	
有形固定資産	-	177	取得原価配分による土地・建物評価差額
無形固定資産	-	312	
(内、のれん)	-	(218)	
(内、商標権)	-	(94)	取得原価配分により識別された商標・商号資産

【取得原価の配分】

M & Aによる取得原価を、被取得企業の識別可能な資産及び負債の公正価値を基礎として配分する手続き。

PL (2021年2月期)

(単位：億円)

科目	詳細	単体	連結	備考
販管費	支払手数料	-	▲3.9	取得関連費用
	減価償却費	-	▲1.4	2021年2月期は3ヶ月分計上 有形固定資産 ▲0.8億円/年(建物残存年数で償却) 無形固定資産 ▲4.7億円/年(20年償却)
	のれんの償却額	-	▲3.6	2021年2月期は3ヶ月分計上 のれん償却額 ▲14.6億円/年(15年償却)
特別利益	段階取得に係る差益	-	4.3	既存保有分株式帳簿価額と支払獲得日時価との差額

- IR強化として、コーポレートサイトを2月22日より刷新。
- トピックスやリリースなど各種情報を頻度高く発信し、認知度向上を狙う。

トップメッセージと経営戦略の掲出

変革の時を迎え、今こそ必要なのはチャレンジマインドです

シナジーを生かし、業界のリーディングカンパニーを目指す。



アークランドサカモトは、「暮らしまいき生活企業」を基本コンセプトに多様な事業を手がけています。なかでもホームセンターを主軸とした小売業では、人々の生活や仕事を支えるパートナーとして、良質な商品とサービスを提供することに努めてきました。また地域に密着した営業展開も、長きにわたり大切にしてきた基本姿勢の一つです。

私たちを取り巻く環境は、刻々と変化しています。およそ4兆円といわれるホームセンター業界の市場規模は久しく変わりませんが、そのような状況下で店舗数だけが増加し、1店舗当たりの売上は低迷。トップ企業とその他の企業の差は広がり、生き残りをかけた競争はますます激化しています。

一方で、コロナ禍に伴い社会構造も消費傾向も大きく変わるなか、他業態より売上を伸ばすことができたのがホームセンターでした。いわゆる巣ごもり需要の拡大により、その豊富な品ぞろえと多様な魅力に改めて注目が集まり、新たな顧客を得られたことなどが要因です。当社も含め、どのホームセンターも好調な業績を築いているようですが、残念ながら今の段階では現状が好転するには至らず、業界再編の動きはスピードを増しています。

各事業の日々の営みの発信

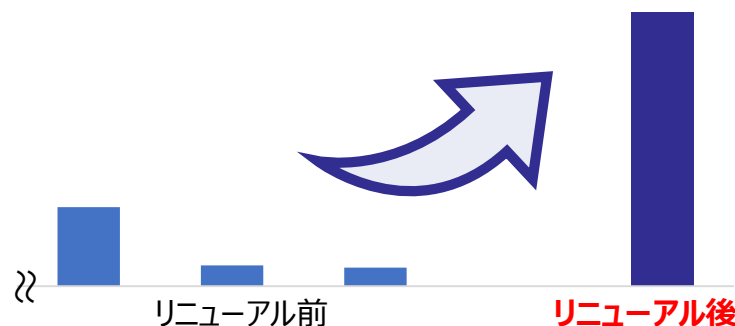
トピックス

トピックス	日付	内容
HONDA 耕うん機キャンペーンに取材協力しました	2021/03/10	
BSN新潟放送 なじラテでスーパーセンターサシ新潟店が紹介されました	2021/03/10	
ビバモール赤間3月9日(火) グランドオープン (771KB)	2021/02/25	

トピックス一覧へ

コーポレートサイト アクセス数

リニューアル前の月間平均アクセス数と比較して、リニューアル後の月間アクセス数は約**7倍**に伸長



2022年2月期 業績予想

(2021年2月21日～2022年2月28日)



2022年2月期 連結業績予想



- 2022年2月期は、アーランドサカモトは12ヶ月+8日決算となる予定です。このため、通期の対前期比を記載しておりません。
- また、連結決算に取り込むビバホームの業績数値は14ヶ月となる予定です。

(単位：億円、%)

	2021年2月期		2022年2月期		増減額	
	実績	(構成比)	予想	(構成比)	(前期比)	
売上高	1,784	100.0	3,650	100.0	1,865	—
売上総利益	678	38.0	1,349	37.0	670	—
営業収入	50	2.9	144	4.0	93	—
営業総利益	729	40.9	1,494	40.9	764	—
販売管理費	569	31.9	1,289	35.3	719	—
営業利益	160	9.0	205	5.6	44	—
経常利益	169	9.5	195	5.3	25	—

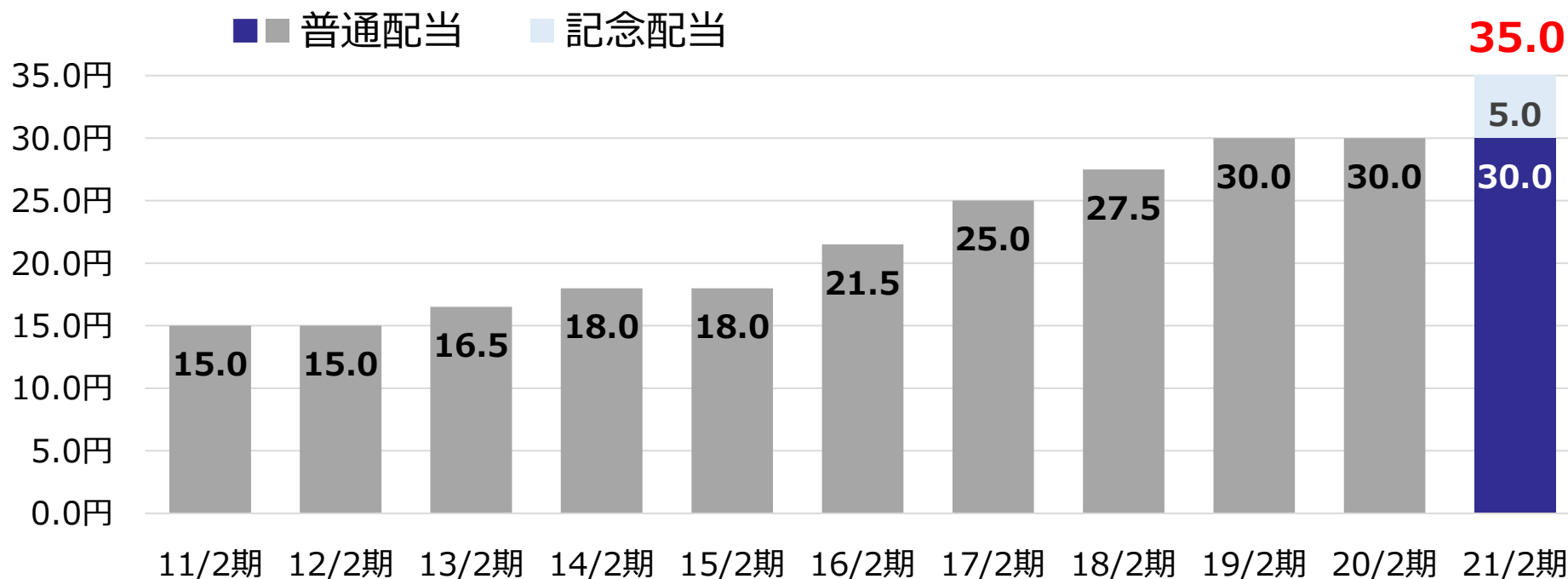
減価償却費 (のれん償却費含む)	53	133
設備投資額	78	219

株主還元について



- 長期的に安定した配当を行うことを重視するとともに、利益水準や配当性向を考慮し、企業価値向上のための内部留保とのバランスを図りながら、利益配分を実施してまいります。
- 当期の期末配当金につきましては、普通配当15円に会社設立50周年記念配当5円を加えて1株当たり20円とし、中間配当15円と合わせて、年間35円の配当を実施いたします。

配当金額



注：当社は、2016年2月21日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、調整後の株式数ベースで記載しております。



ARCLAND

アークランド サカモト 株式会社

本資料は、企業情報の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載されております、将来の業績見通しに関する事項については、開示時点において当社が入手している情報に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。従いまして、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。